

治水特別会計 特定多目的ダム建設工事勘定

平成18年度特別会計財務書類の概要

貸借対照表

(単位:十億円)

前年度	18年度	増減	前年度	18年度	増減		
< 資産の部 >			< 負債の部 >				
現金・預金	50	39	△11	その他の負債	0	0	△0
未収金	2	1	△1				
有形固定資産	116	99	△17				
国有財産 (公共用財産を除く)	59	57	△1				
公共用財産	31	20	△10	負債合計	0	0	△0
物品	25	21	△4	< 資産・負債差額の部 >			
その他の資産	0	0	0	資産・負債差額	169	139	△29
資産合計	170	140	△30	負債及び資産・負債差額合計	170	140	△30

業務費用計算書

(単位:十億円)

前年度	18年度	増減	
受託事業費	5	5	△0
治水勘定への繰入	12	12	△0
減価償却費	9	9	△0
資産処分損益	1	1	△0
その他の業務費用	2	2	0
本年度業務費用合計	32	30	△1

資産・負債差額増減計算書

(単位:十億円)

前年度	18年度	増減	
前年度末資産・負債差額	114	169	55
本年度業務費用合計(A)	△32	△30	1
財源(B)	221	186	△35
自己収入	68	69	0
他会計からの受入	152	116	△36
無償所管換等	△129	△185	△56
資産評価差額	△4	-	4
本年度末資産・負債差額	169	139	△29
(参考) (A) + (B)	189	155	△33

区分別収支計算書

(単位:十億円)

前年度	18年度	増減	
業務収支	50	39	△11
財務収支	-	-	-
本年度収支 (業務収支+財務収支)	50	39	△11
翌年度歳入繰入	50	39	△11
その他歳計外現金・預金本年度末残高	0	0	0
本年度末現金・預金残高	50	39	△11

治水特別会計(特定多目的ダム建設工事勘定)の業務等の概要

- 設置目的
この会計は、一般会計から受け入れる金額のほか、直轄事業の地方負担金を地方公共団体から受け入れることにより財源の調達を図るとともに、治水事業の経理を明確にするため設置されたものである。
- 業務内容
多目的ダム建設工事に関する事業等を実施している。
- 定員数 8,161人(治水特別会計全体)
- 主な財政資金の流れ
一般般会計から受け入れる金額のほか、直轄事業に係る地方負担金の地方公共団体からの受け入れなどを行っている。
- 歳入歳出決算の概要
歳入 2382億円(一般会計より受入 1165億円等)
歳出 1992億円(多目的ダム建設事業費 1472億円等)
差引 390億円(翌年度歳入繰入)
- 積立金残高 なし

主な科目の内容

- 貸借対照表
 - 現金・預金…主に歳入歳出決算上の剰余金
 - 有形固定資産…主に地方整備局事務所庁舎等(主に公共用財産(建設仮勘定)の未完成工事が少なかったことによる減△107億円)
- 業務費用計算書
 - 治水勘定への繰入…多目的ダム建設の工事等に要する経費の財源に充てるための治水勘定への繰入
- 資産・負債差額増減計算書
本年度業務費用合計と財源合計との差額 1553億円